

# 創造

JA いけだ  
CREATION



表紙は12月28日に行った青年部交通安全啓蒙活動の際に撮った一枚です。池田インター前に設置してあります。

## CONTENTS

- \* 平成23年産 生育調査
- \* 21NEWS アラカルト
- \* 確定申告
- \* オーストラリア  
視察研修を終えて
- \* てん菜作付増反のお願い
- \* 農産部通信
- \* 畜産部通信
- \* 今月のオススメ
- \* 理事会の動き
- \* 編集後記

2012.

2  
FEBRUARY

No.026

# 平成23年産 生育調査 ごぼう



平成23年産は、播種時期の5月上旬と収穫期の9月上旬の雨の影響を受け作業が遅れ結果として収穫が遅くなったり、太くなりすぎてしまった圃場も見受けられました。

また平成23年度の部会の取り組みとして春先にキタネグサレセンチュウの検査を行いました。検査の結果、センチュウのいる圃場はありましたが影響の出ない頭数でした。しかし収穫してみると少頭数であってもキタネグサレセンチュウのいる圃場でやけ症が発生しており、この事からネグサレセンチュウのいる圃場では殺センチュウ剤（ラグビー）を使用しているにもかかわらず被害を防ぐことが難しい結果となっております。ですが発生初期に収穫作業を行うことでやけ症の色も薄いことからA品（洗いごぼう）として出荷可能となります。ごぼうの栽培において最も重要なポイントは発芽を揃えることと、適期収穫作業が挙げられます。この点をいかにうまくできるかがその年の生産される品質や収量に大きく影響しています。

## 平成23年度ごぼうの播種及び収穫の時期

播種時期	収穫時期	平均収量(kg/10a)	平均単価(円/CS)
4月下旬	10月5日	2,085	851
5月中旬	9月29日～10月4日	2,134	1,127
5月下旬	10月28日～30日	1,680	1,154
6月上旬	10月12日～20日	1,600	1,035
計		1,859	1,102

## キタネグサレセンチュウ調査結果

頭数	圃場数	発生有無
0頭	4	無
1～5頭	1	有
5～10頭	1	有

# 平成23年産 生育調査 南瓜



平成23年産の南瓜は、うどんこ病の発生により早い時期に茎葉が枯れ上がり日焼果や未熟果による腐敗が多く発生し、品質、収量を落としてしまった圃場がありました。乾燥地や水はけの悪い圃場でも同様な状態になり圃場の条件もありますが、収穫適期まで茎葉を保てるように栽培することが大事になります。

2年間の傾向として黒皮マロンは他品種と比較しうどんこ病への抵抗性が低く、発生の時期も他品種に比べると早い時期に発生しています。また、個人差はありますが直播と育苗の収量を比較してみると育苗の方が180kg程上回る結果となっております。平成24年産作付に当たりうどんこ病の防除を行っていきましょう。



## 平成23年産実績

	10a当たり	平均	最高	最低
ガンコ南瓜	収穫量	1,560kg/10a	2,450kg	1,114kg
	収入	161,259円/10a	235,000円	111,000円
黒皮マロン	収穫量	1,330kg/10a	2,236kg	671kg
	収入	111,198円/10a	187,000円	56,000円
加工用品種	収穫量	1,870kg/10a	2,633kg	1,304kg
	収入	73,000円/10a	107,000円	52,717円

## 農薬使用状況

使用農薬	使用戸数	使用回数	使用時期			
			7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月下旬
ストロビー	6	1～2	3	1	2	2
サルバトーレ	1	1		1		
モスピラン	1	2			1	1

## 播種実績

	面積	収量	平均収量
移植	337	48,016	1,425
直播	361	44,784	1,241

## 農 産 課



## 根張星 (ネバリスター) が ラジオ番組で紹介されました!!

平成23年産より作付面積も約10haまで拡大し、差別化商品として生産・販売に力を注いでいるネバリスターですが、主要取引先である㈱ワタリ様を通じラジオ番組で紹介されました。放送は1月22日(日)15時

00分~15時30分、FMノースウェーブ ASAHI SUPER DRY「THE NORTH GARDEN」という番組でした。

収録は1月17日(火)に行われ、当JAからは長芋部会を代表して糊沢副会長に対応していただきました。また、女性部の料理講習会で講師を務めて頂いた㈱ワタリの野菜ソムリエでもある金澤様は毎月この番組に出演されているそうです。ネバリスターの試食もして頂き、「すごい美味しい!!」という大変嬉しいお言葉を頂きました。

普段何気なく聞いているラジオですが、実際に出演するとなると…緊張してしまいますよね。そんな中、池田町のネバリスターを存分にアピールしてくださった糊沢副会長、㈱ワタリの金澤様大変ありがとうございました。

(記事・農産部農産課 新沼二郎)

## 農 産 課

## 根張星 (ネバリスター) 店頭PR販売について



12月19日~20日にかけて、長芋部会員は参加することができませんでしたが、㈱ワタリ様にご協力を頂き、東京の京王ストアにて店頭PR販売を実施していただきました。根張星のPRポスターやパンフレットも作成して頂き、ネバリスターの知名度アップに向けて取り組みを続けております。

また、道内では全国各地の珍しい商品を取り扱っている野菜ソムリエが店主の八百屋さんでも根張星を取り扱っていただいております。こういった情報発信力のある店舗にも販促活動をして頂いております。なお、根張星(ネバリスター)という漢字での商品名は、平成23年9月2日に㈱ワタリの商標登録となりました。当JAのネバリスターのみが根張星として、全国の消費地へ届けられます。

長芋部会では今後も生産者自らが消費地へ出向き、産地の熱意を伝えていきます。今後は2月3日(金)~5日(日)にかけて関西のいかりスーパーにて、店頭PR販売を実施いたします。消費地の情勢を肌で感じ、十勝池田町の根張星を存分にPRして参ります。詳しい報告につきましては、後日させていただきます。

(記事・農産部農産課 新沼二郎)



## フレッシュミズ

## フレッシュミズ講習会

1月24日（火）、フレッシュミズでは講習会を開催致しました。

今回の内容は十勝のフレッシュミズ研修会で催された「おうちでできるアロマテラピー」の一つとして作成した、簡単に作れるバスボム（入浴剤）を作りました。会員の皆さんは、自分の好きな色で作ったり、好きなアロマの香りをつけたりと、とても楽しんで作成してらっしゃいました。作成後は昼食を取りながら、お話を花を咲かせてもらっていました。とても心がリラックスできる講習会になったのではないかと思います。

（記事・営農部営農課 遠藤由梨）

## 管理部

## JAで救命救急講習会開催

1月10日（火）農協本所大会議室において、池田消防署警防課救急係から講師（高坂氏、藤田氏）を招いて、救命救急講習会を開催致しました。当JA本所・支所には、共済連から寄贈されたAEDが常設されており、使用法を職員が身につけ、事務所に訪れるお客様や、地域住民等の突如の体調不良に対しての基本的な対処法を学ぶことを目的としています。

私たちのちょっとした勇気で救える命があることを学び、知識や技術をしっかりと身につけるため、今後も継続的な開催を行って参ります。

（記事・管理部長 大塚 節）



## 青年部

## 2JA青年部研修会開催

1月23日に、当JA青年部主催でJA十勝高島青年部と合同で研修会を開催致しました。

研修は十勝農業共済組合東部支所より、丸子課長補佐、三浦主事を講師に迎え共済の仕組みや評価方法などを学びました。

真剣な表情で研修に参加し、終了後には日頃の質問や講義の内容に対する質問が多数出て大変有意義な研修となったのではないのでしょうか。その後懇親会を行い、部員同士の交流を行いました。

（記事・営農部営農課 三村太志）

池田町和牛生産改良組合

## 管内視察研修会

1月20日（金）、池田町和牛生産改良組合主催による管内視察研修会が開催され、幕別町の（社）家畜改良事業団 十勝種雄牛センターを訪問、松原場長による種雄牛情報の拝聴・肥育施設の視察を行って参りました。

同センターでは、優秀な種雄牛の選抜（種雄牛造成）を目的とした「肉用牛産肉能力平準化促進事業」という現場後代検定事業によって生産・購買された材料牛が肥育されており、中には当JA管内生産者の協力により生産された材料牛も数頭見受けられ、順調に肥育されているのを確認する事ができました。

現場後代検定は毎年行われており、年間40頭の候補種雄牛から約800頭の材料牛が生産・肥育され、選抜されるまでには約5年もの歳月がかかります。こうした検定によって成績の良かった候補種雄牛が選抜され、後に凍結精液の一般販売が開始されることとなります。

今回参加された生産者の皆様は、普段なかなか聞くことの出来ない種雄牛造成の仕組みや種雄牛情報について熱心に聞いておられました。視察後には懇親会も行われ、大変有意義な視察研修会となりました。

（記事・畜産部畜産課 米川 武）



## ネットなら便利! 24時間 確定申告

詳しくは e-Tax ホームページへ  
<http://www.e-tax.nta.go.jp>

さらに便利で使いやすく!  
ネットでもどこでも申告・納税。

# e-Tax

国税電子申告・納税システム



e-Tax  
でデータ送付!



又は



書面で提出!

便利な

申告書の作成は 国税庁ホームページの

## 「確定申告書等作成コーナー」で!!



画面の案内に従って金額等を入力すれば、税額などが自動計算され、所得税、消費税の申告書や青色申告決算書などを作成できます。

また、作成したデータは、「e-Tax」を利用して提出できます。

※ e-Taxの利用に際しては、電子証明書の取得（手数料が必要です。）、ICカードリーダーライタの購入などの事前準備が必要です。



# オーストラリア視察研修を終えて

生産資材課 山久保 栄治

平成23年11月21日～11月30日の10日間にわたる十勝農協連主催のオーストラリア視察研修に武田茂監事と原口勝理事と私の3名で参加させて頂くことができました。十勝管内から9名の農協役員と3名の農協職員、十勝農協連職員1名、添乗員1名の総勢14名で視察し、農業大国オーストラリアを肌で感じ、皆で共感できた

ことなど、私達3人にとって大変貴重な体験をするこ

とができました。私達の初オーストラリアは第2の都市メルボルンから始まりました。中世ヨーロッパを思わせる砂岩造りの古い建物と新しいビル群の調和が美しく、針葉樹やユーカリの木、ヤシの木と紫色の花を咲かせるジャカランダで街は緑に溢れ、色々な人々が行き交う姿で異国情緒を堪能したつもりになりました。しかし、大都会を離れ、内陸部の農業地帯を訪れると、ユーカリの木がまばらに点在し遥か彼方まで続く乾燥した牧草地、同じくどこまでも続くまさに刈り頃の小麦圃場、整然と並び奥が見えないアプリコットやブドウの果樹園、張り巡らされたカフェオレ色の灌漑水路、乾燥しきつ

ていて雑草すら生えていない灌水チューブが張り巡らされたトマト農園、ギャーギャーと鳴きながら飛び回る大きな白いインコ：まさに別世界！オーストラリアは、どこか殺伐とした感じさえ受ける広大な大地でした。

行く先々で圧倒された視察先でありましたが、概要を報告いたします。

ていて雑草すら生えていない灌水チューブが張り巡らされたトマト農園、ギャーギャーと鳴きながら飛び回る大きな白いインコ：まさに別世界！オーストラリアは、どこか殺伐とした感じさえ受ける広大な大地でした。

行く先々で圧倒された視察先でありましたが、概要を報告いたします。

行く先々で圧倒された視察先でありましたが、概要を報告いたします。

行く先々で圧倒された視察先でありましたが、概要を報告いたします。

行く先々で圧倒された視察先でありましたが、概要を報告いたします。



行く先々で圧倒された視察先でありましたが、概要を報告いたします。

行く先々で圧倒された視察先でありましたが、概要を報告いたします。

行く先々で圧倒された視察先でありましたが、概要を報告いたします。

行く先々で圧倒された視察先でありましたが、概要を報告いたします。

## アグリフードテクノロジー社

(メルボルン)

アグリフードテクノロジー社にて



この企業はオーストラリアで唯一、生の小麦からパン、パスタに至るまで全ての検査を行える能力を持つ。厳しい食の安全基準が課せられる日本向けの小麦の検査も行っており、高い技術力を誇る。

## バラッカーズトマト農園

(シエパートン近郊)

所有地は1200町、40km四方に点在しているので

天災対策にもなっている。主要作物はトマトでマルチと灌漑設備を駆使して120町を耕作している。栽培から販売まで一貫して行うのは日本に似るが、施肥防除は診断、散布に至るまで専門の業者に完全委託しているところが異なる。従業員のほとんどが各地区を渡り歩く季節労働者で給与は歩合制である。他に果樹園を60町、乳牛、肉牛を500頭飼育し年商10億円を計上する。

## ケンドール酪農場

(シエパートン近郊)

所有地は1000町で従業員20人、乳牛を1200頭飼育している。オーストラリアでは一般的な60頭を搾乳できるロータリー式パーラーで年間920万頭の生乳を生産し年商は2億7千



巨大フリーストール牛舎

万円、なお経費は1億6千万円とのこと。飼育は経費削減のため放牧が基本であるが、穀類、牧草、ビール粕、菜種粕、オレソジの皮なども与えている。寝床は30m×250mの巨大なフリーストール牛舎だが、天災が無いとこのことで北海道では考えられない様な細い鉄骨であった。

### ダンジョン肉牛農場

(タチユウラ)

経営していた解体業を息子に譲った老経営者と孫娘の夫、若い従業員の3人で営農している。マリーグレイ種というオーストラリアで

品種改良された角が無い灰色の肉牛を300頭飼育する。日本や韓国にもオーギービーフとして輸出されている。飼料は小麦を牧草のように与え、他には液体の小麦の副産物を与えているとのことであり日本とは大分様子が異なっていた。受精卵販売も手掛けており雄牛にも力を入れている。

### タチユウラ乳業工場

(タチユウラ)

視察の1ヶ月後に大手メーカー「ベガ」との吸収合併を控えているとのことであった。ただ、ブランド名は残るそう、2社合わせた年商は750億円に上る。周辺の酪農家300戸と契約を結んでおり搾乳から1時間以内に集荷することが可能。この工場では飲料乳は生産しておらず、乳製品を加工生産している。日本とは、かなり取引が有りクリームチーズなどを輸出している他、雪印専用の粉ミルクの缶詰工場を所有している。



視察先で質問

乾燥したオーストラリアらしく、水の確保には気を使っており、新しい貯水タンクを増設中であつた。

### デニクイン穀物貯蔵施設

(デニクイン)

穀類を保管し保管料を徴収する倉庫業者で施設の管理は通常3〜4人、ピーク時は10人位で行う。十勝では農協サイロなどがその業務を担う。屋外に小麦などを野積みする巨大なバンカーサイロを複数所有し1基の大きさは20m×90mで保管能力は12000トン。もちろんタワー型のサイロも所有しており、現在は米を

保管していた。周辺地域で作付される小麦の種類は100種類以上有る為、保管は品種ごとではなくグレイド毎に混合して貯蔵しているとのことであつた。大雑把だなと感じたが合理的と取るべきか。ちなみにオーストラリアでは小麦は自然乾燥で水分が11%〜12・5%まで落ちるので乾燥施設は無い。

### パット&ビル畑作農場

(デニクイン)

耕作地1000町を所有し、小麦4品種を150町耕作、他にも米を耕作しており大半は牧草地で羊を3600頭飼育している。広大な面積にも関わらず老兄第2人と常勤1人の3人で営農、年に1度の羊の毛刈りシーズンだけ日雇い労働者を多数雇用する。小麦の収量は灌漑設備がある圃場では反収500〜720kg、しかし灌漑設備が無ければ250kgにしかない。肥料は第二燐安を反当12・



どこまでも続く小麦圃場

5kgしか施肥しない、適当な降雨が有り、増収が見込める場合は尿素や第二燐安を追肥する。乾燥地帯の為、防除は明らかに日本より少ないが、その分農業用水に経費が掛かり小麦1トンの収益は16500円、経費は7500円である。また、土地が広大な為、輪作体系を十分確保することができ7〜8年は空けることが可能であるが、農家1軒々々が孤立しており一番近い集落で10km先、機械の修理業者は、なんと120kmも離れており機械トラブルが発生した場合は時間をロスしてしまう弊害がある。

## ハーベストムーン社

(タスマニア州デヴォンポート)

年間7万トンの野菜を扱う商社で周辺農家と直接契約して人参、玉ねぎ、馬鈴薯、ブロッコリー、インゲンなどを販売し、ホテル用などにカット野菜も手掛ける。自社でも800町の農地を所有しており野菜を生産から販売まで一貫して行っている。特徴的だったのは消費者のニーズということだ、馬鈴薯は洗い芋のウエイトが大きく、日本の様に土付きなのは有機栽培などの限られたものであった。人参はイオンと契約している日本に輸出しており、今後は玉ねぎの輸出も視野に入れている。ちなみにタスマニア州では雨が多く小麦は、ほとんど作付していないとのことであった。

## TFGA

(タスマニア州ローレンスミアン)

Tasmanian Farmers & Grazier Association 略

でタスマニアの農民と羊飼いの組織と言ったところか。日本には当てはまるような組織が無い。加入脱退は自由でタスマニア全土で5000人の農業者の内、3500人が加入している。組織の目的は農業者のサポートで農業者から賦課金を徴収して活動資金とし年間の予算は1億5000万円。なんとスタッフはたったの10人で、法律関係の中心、災害時に補助金の支出を政府に進言する等の活動を行っている。また、政府にデータを提供して農業者の将来像を伝え、懸念されることについて対策を促す。政府を通して長い目で農業者をサポートしているとのことであった。

視察研修の一方で、自由時間には3人でどこか色々な所を歩きました。シェパードの街では、バスで皆と夕食を食べべにレストランに行ったのですが、

ホテルまで近そうだったのに、止せばいいのに私達3人だけで歩いて帰ることにしました。結果は皆さんのお察しの通り道に迷ってしまいました(笑)。ホテルまでの道をあちこちで訪ねながら来た道を戻る途中、何度目かで道を訪ねたご婦人がご主人の運転する自動車を追いかけてきて、なんとホテルまで送ってもらってしまいました。旅先で親切な人との出会いに、まるで「テレビの旅番組」みたいだなと、ちょっと感動してしまいました。他にもメルボルンでカジノに向かう際、私達の乗ったタクシーだけが皆と違うタクシー乗り場に着き、縦400m、幅100mの巨大な建物をぐるぐる歩きました。合流するまで1時間かかった事、また帰りのタクシーではこれは完全に私のミスですが、ホテルの名前を最後まで言わなかった為に同じ系列の違うホテルで下ろされ(言い訳させて頂くと外観と周

りの風景も良く似ていました...) 小雨の降る中、傘もささずに1kmほど歩いて帰るはめになりました。まだあります、タスマニア島のローレンスミアンでは缶ビールを買いに酒屋を探して：きりが無いので、もうやめます。

夜が更けると肌寒く、初夏だというのになぜかコオロギが鳴いている街角で夜空にオリオン座が日本とは逆さまに上がっているのを見て、ああここは南半球なんだなと実感しつつ、この国の農業者に思いを馳せると、農業政策の支援がない中、広大な農地で転作を繰り返して肥料コストを削減、乾燥しているのに農薬コストも掛からず(代わりに農業用水は高額ですが)、反収の低さ

は耕作面積でカバー、地震、台風、降雪が無い為、施設も簡素に建設し、徹底したコスト削減で世界に通用する競争力を身に付け、世界の食糧基地を自負するこの国の農業者のたくましさや垣間見た様な気がしました。一方で、十勝の農業は世界の食糧基地とまではいかないまでも、少なくとも日本の食糧基地であり続けなければならぬと、改めて考えさせられた視察研修でした。

最後に、この貴重な体験をさせて頂いた組合員の皆様、役職員の皆様に、心より御礼申し上げ報告とさせて頂きます。



セントパトリック大聖堂で  
記念撮影



# てん菜作付増反のお願い

平成23年の当JAてん菜実績は収量64.9t/ha、糖分15.8%となりました。春先の作業遅れ・夏～秋の高温等、生育・病害の両面からピートにとって過酷な一年でありましたが、収量については平成17年に近い高収量年となりました。糖分は残念ながら低糖分となりましたが、①低糖分を補う高収量、②品代価格の上昇により10a当り粗収入も高い水準にあります（北糖からの1月郵送の文章もご確認ください）。

本年は土壌凍結も深く、作柄に期待できそうとの声も聞かれます。当JAにおけるてん菜の作付面積は残念ながら減少傾向ではありますが、是非増反に向けてご検討の程よろしくお願い致します。また、作付にあたりご不明な点はどんなことでもJA・北糖まで連絡お願い致します。

## てん菜の手取り水準（直移別見込）



### 平成23年産JA十勝池田町てん菜実績の試算

		移植 収：6.9t/10a 糖：15.8%		直播 収：5.8t/10a 糖：15.7%	
		単 価	金 額	単 価	金 額
品 代		10,960円/t	75,788円/10a	10,890円/t	64,011円/10a
政策支援	数 量 払	5,604円/t	38,752円/10a	5,542円/t	32,576円/10a
産地資金	湿害・施肥・(直播)	4,000円以内	4,000円/10a	5,500円以内	5,500円/10a
反 当 り 収 入		118,540円/10a		102,087円/10a	
原 料 t 当 り 単 価		17,142円/t		17,367円/t	

昨年の生産実績は直播・移植とも北糖管内ではトップです。直移計の実績のみならず、直播と移植の収量差が他地区よりも少なく（H24実績では85%）、直播・移植共にてん菜の作付メリットは非常に高いと考えられます。

## てん菜直移別生産実績

当JAにおける過去の生産実績は下記の通りです（移植・直播のみを作付している方の平均）。過去8年の実績からは移植・直播共に非常に高い収量となっておりますが、①不作年では移植と比べて減収率が大きくなっている（直近ではH18.21.22）、②毎年広い管内どこかで災害（酸性障害・クラスト・風害等）が発生しており、引き続き安定生産への取り組みが必要です。

### JA十勝池田町 直移別生産実績

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	8カ年平均
移植 (t/ha)	62.09	72.56	68.92	59.62	72.00	71.66	53.17	50.43	69.15	63.80
直播 (t/ha)	56.59	61.65	59.14	50.86	58.60	60.51	40.57	40.59	58.78	53.56
収量比 (%)	91.10	85.00	85.80	85.30	81.40	84.40	76.30	80.49	85.00	83.90

# 農産部通信

農産部  
農産課・施設課

## ▶ 指導チーム活動報告会を開催致しました！

1月19日に指導チーム活動報告会を開催致しました。この報告会は指導チームの活動内容を普段別の業務にあたる他部署の職員の方にも知って頂き、日常業務のなかで少しでも役に立ててもらえればという目的で指導チーム発足初年度の昨年度に引き続いて実施しました。また、本年は役員の皆様にも参加のご案内をさせて頂き、業務終了後の遅い時間の開催ではありましたが多くの皆様のご参加を頂くことができました。



報告会では指導チームの活動を、①圃場巡回実施・技術情報作成、②きたほなみ安定生産方法確立、③試験圃調査、④マッピングシステム関係、⑤施肥相談対応、の大きく5つに区分し、それぞれ主担当が10分程度に内容をまとめて発表致しました。特に重点的に取り組んでいる、きたほなみの取組みでは、小麦安定生産の重要性を全職員で共有できるように当JAにおいて小麦が果たす役割を紹介し、24年産からの新しい取組みである「地区別定点調査」の実施状況を説明致しました。また、消費地からも注目度が高まっている「ネバリスター」に関して、作付拡大を目的とした種子生産試験の取組み状況や取引先と一体となって実施している販促活動をポスターとリーフレットの紹介を交えて報告致しました。

報告会の最後には役員の方より生産者の視点からの指導チーム活動についてのご意見、ご要望を頂戴し、今後の活動に向けての貴重なアドバイスとなりました。

普段なかなか人前で発表する機会がないこともあり、伝えたいことの半分も説明できない発表者もありましたが、報告内容をまとめるにあたって年間の活動を振り返ることができ、大変良いきっかけとなりました。今回報告した活動内容は今後該当するそれぞれの生産組織の総会、



全体会議等の際に報告する予定ですので、それに向け更なる内容の充実を目指したいと考えています。

部署間を横断した連携強化と職員のレベルアップを目的にスタートした指導チームですが、これからも組合員の皆様にタイムリーで有意義な情報提供を目指して取り組んで参ります。「こんなことを知りたい!」「こんなことを調べて!」などのご要望などがありましたら、お気軽に伝えて頂けますよう宜しくお願い致します。

## ▶ 氷温ストレージ 厳しい寒さで間もなく結氷100%に! —

1月19日（木）に今冬の寒さも考慮して例年より早い時期ではありましたが、結氷調査を小豆氷温ストレージにて行いました。

昨年であればこの時期の貯氷庫内では「バンッバンッ」と氷が出来る過程でひび割れる音が多く聞こえていましたが、本年はその音もずいぶん少ないことから、いつにもまして結氷が進んでいることが伺えました。目視でも凍りづらい場所にあるコンテナで既に中心部を盛り上げながら大きく裂け目が発生している様子が確認できました。続いて実施したドリルを使用した掘削調査でも中心部にすでに水はなく完全に凍っていることがわかりました。



中心が大きく盛り上がり裂け目が生じている様子

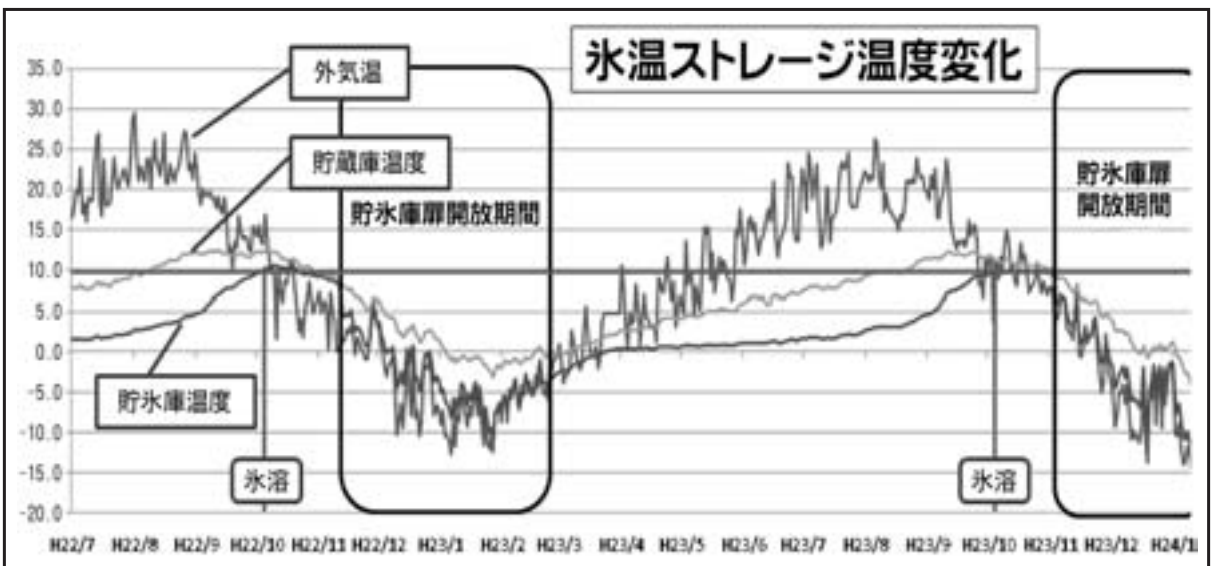
結氷に備えて貯氷庫の扉が開放されて以降の日平均気温が氷点下で推移し始める12月以降から1月中旬までの平均気温の合計を年次毎に検証したところ、22年12月～23年1月中旬までが-439℃だったのに対し、23年12月～24年1月中旬までは-554℃となっており、この寒さの差が昨年を上回る結氷の早さにつながったようです。

1月中旬時点では保管されていた契約豆も出庫に備えて農産センターへ移送されているため、貯蔵庫内は紙袋製品のみとなりガランとしています。今後契約栽培の小豆や手亡の調整終了に合わせて搬入が行われていきます。

23年の貯蔵庫内の温度推移は最高でも12℃と非常に安定した環境で貯蔵できておりますが、今後も蓄冷熱量を増やすために注水量、コンテナ数の増加や夏場の屋根部分からの温度上昇対策などを行い、更に保管環境の安定した貯蔵施設を目指して取り組んで参ります。

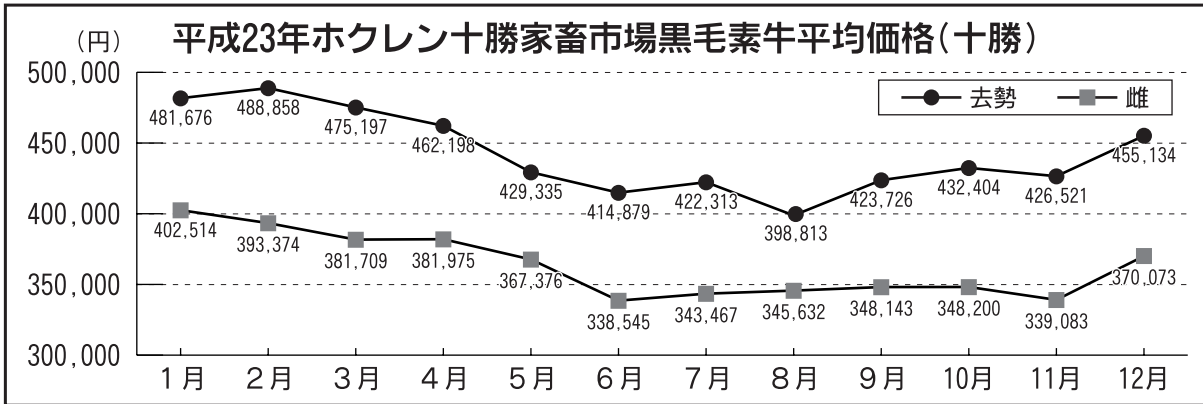


掘削した穴の様子





# 畜産部通信 畜産部 畜産課



### 12月黒毛素牛出荷区分別成績

【金額(円)】

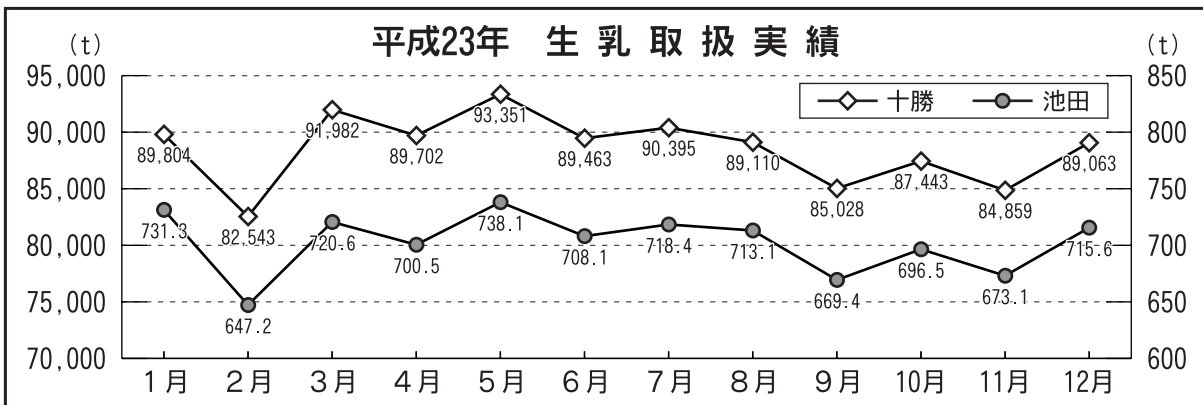
去勢	池田	十勝	池田	取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	池田	十勝	和牛素牛	796	455,134	
			マニュアル参加牛	410	456,384	51.5
			マニュアル認定牛	190	479,546	23.9
池田	池田	十勝	和牛素牛	62	456,885	
			マニュアル参加牛	46	453,395	74.2
			マニュアル認定牛	29	472,210	46.8
十勝	池田	十勝	和牛素牛	590	370,073	
			マニュアル参加牛	292	367,924	49.5
			マニュアル認定牛	97	382,460	16.4
池田	池田	十勝	和牛素牛	38	360,377	
			マニュアル参加牛	26	355,869	68.4
			マニュアル認定牛	18	372,517	47.4

### 12月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
3日 10日 17日	黒毛去勢	A-5	1,965
		A-4	1,625
		A-3	1,383
	黒毛メス	A-5	1,812
		A-4	1,553
		A-3	1,367
	F1去勢	B-3	1,138
		B-2	614
	F1メス	B-3	1,085
B-2		704	

12月3日 全道枝肉共励会  
12月10日 十勝枝肉共励会



### 12月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	乳牛育成	681	251,277
7日	乳牛初妊	1,061	506,052
	乳牛経産	243	239,158

### 12月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	24,876
F1オス初生	90,104
F1メス初生	40,436
廃用牛	72,501



## 冬期の子牛の飼養管理について

今シーズンの冬は、12月から非常に寒い日が続き、ここ数年では最も十勝らしい冬となっておりますが、子牛の管理においては難しく、生産者の方も神経質になる状況が続いております。

育成牛は出生後3ヶ月が管理上難しい時期ですが、この寒さは下痢の発生、風邪の症状を懸念する環境となっており、改めて防寒対策をご確認頂き、この冬を乗り切りましょう。

### ～ストレスのない飼育環境づくり～

衛生環境については、特に注意しなければならない時期です。

環境性の下痢や呼吸器病の感染が起こりやすいので、牛舎内は換気を良くし、消毒や石灰塗布をするなど衛生的な環境の維持に最大限努力をしてください。

冬期は保温ランプを付けたハッチを利用するなど、寒さ対策も必要です。特に牛体が濡れた状態で隙間風にさらされると、体温を奪われて体力の消耗が著しく、下痢や風邪の発生が急増します。敷き料をたっぷりを使い、保温と乾燥に努めてください。

また、密閉し過ぎて湿度が高くアンモニア臭がこもるような牛舎では、採食量が減ったり、呼吸器官が損傷を受けて呼吸器病が多発します。

夏期は窓を開放したり、扇風機で送風し、冬期間は換気扇をゆっくり回したり、晴れた風のない日に窓を開けるなど、年間を通してこまめな管理が必要となります。

## 子牛の暖房対策いろいろ

コンクリートの牛床に、スタイロフォームを敷き、床からの冷えから守る。子牛の腹を冷やさないとポイント。



電熱線ヒーター付きのマットで直接床を温める。アンモニアが揮発しないように、常に乾いた敷きわらを使う。



赤外線ヒーターを設置して保温する。カーフハッチに使うと効果が高い。



病気がちで弱っている時は、モウモウベストでしっかり保温。



**最後に**

子牛の状態を常に観察しましょう。  
事故率の低減は異常牛の早期発見、早期治療。

## 理事会の動き

### 第 11 回

〈平成24年1月23日〉

#### ★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入について
- (2) 組合員財務の現況について
- (3) 平成23年末組勘整理実績について
- (4) 12月末基準決算見込みについて
- (5) 共計品の精算について
- (6) 平成24年度産農作物の作付予定面積の集計結果について
- (7) 特定組合員の年末整理状況及び負債残高について
- (8) 平成24年度新規採用内定者について

#### ★ 議 案 ★

- (1) 出資金持分譲渡と新規加入承認願いについて
- (2) 信用事業方法書 組織規程の一部改正について
- (3) 役員責任調査委員会設置要領の設定について
- (4) 規程管理規定の一部改正について
- (5) コンプライアンスマニュアルの改訂について
- (6) 自治監査結果の報告について
- (7) 事業評価結果による次年度行動計画について
- (8) 地区懇談会の開催について
- (9) 平成24年度各種事業に対する利用料金料率の設定について

## 今月のオススメ



### マーボーハクサイご飯

#### 材 料 (4人分)

温かいご飯	800g
ハクサイ	1/4株 (600g)
豚ひき肉	200g
ネギ (みじん切り)	1/2本
ニンニク (みじん切り)	1片
ショウガ (みじん切り)	1かけ
ごま油	大さじ2
A みそ	小さじ4 (25g)
砂糖	大さじ1
豆板じゃん	大さじ1/2
しょうゆ	大さじ1
スープのもと	小さじ1
湯	150ml
B かたくり粉	大さじ2
水	大さじ4

#### 作 り 方 (1人分 約582kcal)

- ①ハクサイは葉と芯に分け、5～6cm長さ、1.5cm幅に切る。
- ②A、Bはそれぞれ合わせる。
- ③中華鍋にごま油大さじ1を熱し、ハクサイの芯をしんなりするまで炒め、次に葉を炒め、取り出す。
- ④同じ鍋にごま油を足し、ネギ、ショウガ、ニンニクを炒める。ひき肉を炒め、色が変わったら、③を戻し入れ、Aを加える。
- ⑤煮立ったら、Bを加えて、とろみをつける。
- ⑥器にご飯と、共に盛る。

1月中旬を過ぎてからの、最低気温マイナス20℃!! 私事ですが朝はなかなか布団から出るにすらならず、布団からやっと出たと思えばストーブの前から離れられない状態です。それでも小学生の時は、兄弟とスキーに行ったり、かまくらを作ってよく寒い中でも外で遊びました。

それが今になるとこの状況で体がなまってどうしようもありません。それに合わせて風邪までもひいてしまい、体作りを目標に今年は運動をしよう!と決意した年明け早々でした。

皆さんも風邪に負けないよう体調管理には気をつけてください。(E)

編  
集  
後  
記